

# エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展 特集論文募集（和文論文誌 C）

エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展  
特集編集委員会

電子工学(エレクトロニクス)は現代社会を支える根幹技術の一つであり、その重要性については議論を待ちません。それを支える共通的な基盤技術としてシミュレーション技術があります。その研究開発は、独創的なアイデアを容易に検証し付加価値の高い成果へと効率よく結実させるためにも必要不可欠となっています。そこで EST 研究会では 2012 年度より毎年、エレクトロニクスシミュレーション技術に関する特集を企画してまいりました。引き続き、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を世に広め、技術立国日本の将来に資するために、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集」(2027 年 7 月)の発行を企画致しました。対象分野は、各種エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術、理論、その高速化技術、マルチフィジックスシミュレーション技術、シミュレーション技術の産業、教育応用など全般としていますので、皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。

## 1. 対象分野

電子工学一般(電磁波/光/熱/流体/物性など)のシミュレーション全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・エレクトロニクスシミュレーションの技術、理論
- ・エレクトロニクスシミュレーションの高速化技術、理論
- ・マルチフィジックス(複合)シミュレーション
- ・エレクトロニクスシミュレーションの産業、教育への応用

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数8ページ程度、ショートノートは2ページ程度とします。執筆の詳細は「電子情報通信学会和文論文誌 投稿のしおり(エレクトロニクスソサイティ)」を御参照下さい。

([https://www.ieice.org/jpn/shiori/es\\_mokuji.html](https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html))

なお、査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合があることをあらかじめ御了承下さい。

- ・2021 年 4 月 1 日から非会員の投稿が可能になりました。

## 3. 論文投稿締切日: 2026年7月20日(月) ※締切が延長となりました

掲載料支払期限: 2027 年 1 月中旬予定

※掲載料前払い制導入に伴い、上記の支払期限が設けられておりますので御注意下さい。

詳細は以下 URL を御参照下さい。

[https://www.ieice.org/jpn/shiori/es\\_6-10.html#7.1](https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_6-10.html#7.1)

#### 4. 投稿方法

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイル・編集用電子ファイルを登録し、WEB 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい。投稿手続きについて御不明な点がございましたら、学会事務局まで御連絡下さい。

#### 【学会事務局連絡先】

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部論文課

E-mail: wabun-c@ieice.org

#### 5. 問合せ先

陳 春平 神奈川大学 工学部電気電子情報工学科

TEL: [045] 481-5661, E-mail: chen@kanagaa-u.ac.jp

#### 6. 特集編集委員会

委員長 萱野 良樹(電通大)

幹事 陳 春平(神奈川大)

編集委員: 井口 亜希人(室蘭工大), 伊藤 桂一(秋田高専), 上山 博也(村田製作所),

江口 真史(千歳科技大), 草間 裕介(東洋大), 關根 惟敏(静岡大), 日景 隆(北大),

藤田 和広(埼玉工大), 安井 崇(北見工大)